

# 政治の成功 効率的な政治市場

第6回 比較政治経済分析

# 質問

- 時間の非整合性によって、「将来発生するであろう赤字財政について低く見積もってしまう」のはなぜですか。

# 質問

- マンデルブロ&ハドソンの研究では、金融危機が正規分布ではなくべき乗分布で表されると主張されていますが、その分布の縦軸と横軸の指標は何に設定されているのですか。
- アジア通貨危機やロシア金融危機以前の金融工学では正規分布を前提としていたとのことですが、それはなぜなのでしょう。金融危機がそれ以前にも何度か起きているのにも関わらず、前提が崩れなかった理由があるのでしょうか。

# 政治の成功 効率的な政治市場

第6回 比較政治経済分析

# メニュー

- 効率的政治市場
- Donald Wittman, *The Myth of Democratic Failure: Why Political Institutions Are Efficient*, 1997.  
(『デモクラシーの経済学』)
- ルピア & マカビンス 『民主制のジレンマ』 2005年 (*The Democratic Dilemma*, 1998)
  - 有権者の選択
  - 代理人としての政治家のコントロール
  - 利益団体の影響力
  - 官僚制

# 政治市場をどう見るか：ヴァージニア学派对シカゴ学派

- ヴァージニア学派
- 「合理的無知」個々の有権者にとっては、全く情報収集活動をしなことが合理的である。Downs(1957)
- 政治家は有権者の無知、無関心、情報不足に乗じて自らの利益を増大しようとし、再選のために出身選挙区や支持母体への利益誘導を図ろうと、非効率な政策が実施される。

# 政治市場をどう見るか：バージニア学派对シカゴ学派

- シカゴ学派
- 現存する政策や制度は効率的。パレート改善をもたらす余地はほとんど残されていない。
- 政治的アクターたちはそれぞれの目的関数を最大化するように行動する合理的な主体
- 政治の世界にも競争原理
- 有権者が政治家に騙され続けたり、錯覚に陥り続けたりすることはない。
- 政府活動の効率性を示す理論モデルや実証分析を提示

# 規制緩和への異論

- ケーススタディー「借地借家人保護と市場」
- 保護により供給不足・過小サイズの賃貸住宅
- 過剰な持ち家志向
- 規制緩和論と設計主義の結婚
- 小谷清の批判『現代日本の市場主義と設計主義』2004年
- コースの定理と立ち退き料
- 徹底的な政府への不信と市場への信頼
- 政治的市場：ヴァージニア学派 対 シカゴ学派



# 有権者の選択

- 政治の失敗と有権者
- 理性的選択のできない有権者
  - 有権者の政治知識
  - 合理的無知

# 有権者の選択

- アーサー・ルピア & マシュー・マカビンズ 『民主制のジレンマ』 2005年（原著1998）
- 理性的選択の可能性
  - 「十分」な情報を持つ投票者
- 認知科学からの知見
  - 学習とは能動的で目的指向的なものである
  - 選択的無知
  - Connectionism
  - 複雑な推論を引き出すために限られた情報を用いる

# 代理人のコントロールとしての選挙

- ルソー
  - 「選挙とは主人を選ぶ奴隷の権利である」「国民は選挙の時だけ自由であり、選挙が終われば奴隷である」
- 選挙によるコントロールの可能性
- 政治市場における評判
- 最終期問題を緩和する政党
- 有権者の監視と競争の存在

# 取引費用

- 政治家の選択
  - 能動的学習
  - 選挙運動・利益団体の活動
- 集合的決定 民主主義は取引費用を低下させる
  - 利益の集約機能
- 様々な制度の役割
  - コースの定理
  - 委員会制度や議事規則
  - 決定の循環問題の解決

# 利益団体政治 少数の優位？

- 利益団体の影響力
- 集合行為問題
- 少数の優位への異論
  - 10000人に100ドル課税、100人に1万ドルを与えるという政策
- ダウنزの中位投票者

# 官僚制：本人代理人関係と政官関係

- 何故代理人を使うのか
- 代理人を使うメリット
  - 専門的能力と官僚
- 代理人を使う際の課題
  - 官僚の持つ選好と本人
  - 組織維持
- エージェンシー・スラックの発生
  - 本人に情報量で勝る代理人が、本人の利益にならない行動をとる  
(曾我、行政学、23)

# エージェンシー・スラックの発生

- 情報の非対称性問題
- 隠された情報 (不完備情報)と逆選択
  - 政治家は知り得ない
  - 官僚の政策選好
  - 官僚の能力
- 隠された行動(不完全情報)
  - 政治家が官僚の行動を観察できない
  - モラル・ハザードの発生可能性
- 代理人のコントロール

# 官僚に対する事前コントロール

- 不完備情報への対応と事前コントロール
  - 能力と政策選好に基づく代理人選出
- 自由任用（パトロネージ）
  - 政治任用
- 資格任用（メリット・システム）
  - 能力重視と身分保障
  - 政策選好とのトレードオフ
  - 政策選好確認の困難



# 官僚に対する事後コントロール

- 不完全情報への対応
- 官僚行動の観察と統制
  - 警察パトロール型
- 観察の困難さと工夫
  - 火災報知器型
  - シグナルとノイズ
- 効率性賃金

# 官僚制批判の追加的論点

- 予算最大化再検討
- William Niskanenn, *Bureaucracy and Representative Government*, 1971
- 予算最大化による非効率（資源配分の非効率と組織の非効率）
- 官僚の予算最大化行動は、官僚間の競争をともしなう
- 上級官僚の選好は、予算最大化ではない
- Patrick Dunleavy, *Democracy, Bureaucracy and Public Choice*, 1991  
“Bureau-Shaping Model”
- 行政改革と官僚